

めろん
目安箱

読者のみなさまからのご意見、感想、コメントをお寄せください！QRコードもしくは info@mafga.or.jp まで。

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！



[シリーズ]

排外主義に對抗する

今回は、2025年11月8日（土）に開催された「多民族フェスティバル 2025」の舞台裏レポートの後編。今回初めての取り組みである「企画運営ワーキンググループ」や「みんなの一日、知ってみたい」など、さまざまな取り組みの奥にあるねらいや思いなどをお届けする。（坂口）

#3 「多民族フェスティバル 2025」を終えて（後編）

はじめての“企画運営ワーキンググループ”

今回、「企画運営ワーキンググループ」が一般公募によって

設置され8名の応募！正直、事務局側も何を具体的に任せるのか手探りの状態であった。外国で育った者、日本で育った者、大学で多文化共生について教えている講師、大学生など、多様な6名が選出された。中でも、協会活動を自身の居場所として成長してきた外国ルーツの若者の参加は特に嬉しかった。まず

「もっと発信し、祭りをみんなに知らせる工夫」の議論からスタートした。そして、「誰にも分かりやすいテーマ設定」が必要であるとの結論に至り、「その手で何やる？あの手この手で一緒にやろう！あなたの手をかせてください」という、単なる交流を超えて「私たちはどう関わるのか」という問いを投げかけるテーマが生まれた。この問いかけを表現する手段として選ばれたのが「参加型アート」である。紙や布で作った手形を職場体験に来ていた中学生たちと一緒に作った土台にくっつける。「手を1000個集める」目標を呼びかけたパネルには、学習支援「せんくら」(*)に参加する小学生の描いたキャラクターが採用された。日本語での会話は苦手な彼女が、絵を通してボランティアとの信頼関係を築き、その絵を活かそうと黙々と動くボランティアの姿は、まさに地域の底力であり、人の想いが交差する確かな場が生まれていることを示した。



閉会式で発表するワーキンググループのメンバー。



参加型アートは、フェスティバル終了後市民ギャラリー「チカノバ」で展示された。

フェスティバル閉会あいさつの際、もともと予定されていなかったが、ワーキンググループのメンバーが急きょ、参加型アートの発表と報告をおこなった。メンバーがみな、堂々と発表できたのは、この場が「場＝人」であり、お互いを守り合えるという安心感があったからにほかならないと実感した。（大野）

※せんくら：毎週木曜 16:30~18:30 に船場図書館の AV コモンズで活動する「せんばこどもたぶんかクラブ」の通称。

No.221 発行元・返還先：（公財）箕面市国際交流協会

【賛助会員数】個人：293名 法人：23団体（1月27日現在）

〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター内

Tel： 072-727-6912

Fax： 072-727-6920

E-mail： info@mafga.or.jp

Web： https://mafga.or.jp



“ぼくもここに来ていいよね”

「みんなの一日、知ってみたい」という交流企画では、来日したばかりの漫画家をめざすボランティアと、先ほどふれた、

キャラクターを描いた小学生が引き合わされた。最初は口を開かなかった子どもが、時間が経つにつれて自分の絵を見せたり質問を投げかけたりと、小さな対話が始まったのである。文化や言葉が違って、「うまく表現できない」という共通の気持ちで、二人を静かに結びつけたこの瞬間こそ、私たちはフェスティバルの最も貴重な成果と捉えている。

さらに、参加型アートに参加した地域の中学生の一人が、「ぼくもここに来ていいよね、外国にルーツあるもん」と発言したことは、極めて印象的であった。人と違うルーツを持つことで孤立感を抱きがちな彼が、皆と一緒に「手」を切り貼りし、アートを完成させる過程で「違い」を隠す必要がないという安心感を得たのだろう。この場所が「人と違うことの素晴らしさ」を肯定し、誰もが自分らしくいられる居場所であることを、参加者自身が確認してくれた瞬間であった。(大野)



16 時までのイベントを第一部とすると、その後の「お疲れさま会」は、第二部といえるかもしれない。一日が終わり、疲れ切ったカフェスタッフたちが残る空間に、まだその熱を感じていたい若いボラン

そして、お疲れさま会…

ティアや出展者たちが集まった。かれらはそこで初めてちゃんと自己紹介を交わし、たわいのない会話を続けた。この、「やり切った」感のあるなじみの者たちと、まだ「やり残した」感のある者たち（＝どちらかという、ふ



だんからの関わりが少なく、まだ互いにぎこちなさのある人たち）とが同じ空間を分かち合う「余韻」こそが、私たちがつくりたい社会の姿につながっていくのだろう。私たちは世間から押し付けられるレッテルや、自身の生き様とは異なる評価に苦しむ人々の「居場所」を守り続けている。この「余韻」を日々の協会事業へとつなげ、誰もがありのままでいられたり、声を上げられたりする社会をめざして、来年以降も活動を継続していく。(大野、野崎)

おわりに

例年はフェスティバルに参加していたが、今回、あえて参加しなかった日本語ボランティアのグループもあった。メンバーの数名に話を聞いてみると、「企画運営ワーキンググループの取り組みなども事前にイメージを持てず、参加を見送った。いち参加者として来場してみて、屋外とは違った、あたたかさや交流の場を感じることができた。自分が関わっている活動の学習者も 10 人近く見かけ、このフェスが、外国人市民にとっての居場所であることを再確認した。事務局のリソースが少ない中で、よくぞこの場をつくってくれた」と話した。

事務局が旗を振って、公園で大きく開催していた頃の様相とは異なっているが、時代に合わせてフェスティバルのかたちは変わりゆく。派手さはないかもしれないが、手と手を取りあって、関係性をつむぐことこそが、排外主義に抗い、居心地よくいられたり、時に背中を押してくれる「場」をつくることにつながるのであろう。来年は、ぜひともあなたの「手」を貸してください。(坂口)

ECCジュニアで楽しく英語を学ぼう！

小野原教室

小学1-3年生クラス 16-17時
小学4-6年生クラス 13-14時

場所：箕面市立多文化交流センター
電話番号：05071193794
メール：c_rieyama@icloud.com

QRコード

ECCジュニア

大阪大学 × MAFGA
学生・若者が地域とつながる居場所

ひとこま

活動日時：水曜日 10:00～15:00
木曜日 11:00～16:00

対象：どなたでも
場所：大阪大学箕面キャンパス 3F
(テラスと食堂の間の廊下)
祝日、年始年末はお休み
*昼休みなどの長期休暇は水曜日のみ

QRコード

チカノバ

協賛運営者：(公財) 箕面市国際交流協会

テーマは「フード」×「アート」×「ハート」!

★ギャラリー (水～日)
10:00～21:00

★カフェ (水～日)
(comm cafe2号店)
11:00～20:30
(日曜 18:00)
※水・木・金
14:00～16:00 はクローズ

北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階 (地下3階)
(〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー)
072-734-8711 (ギャラリー) / 072-734-8722 (カフェ)

“お茶”の文化は、世界中にある。ものや作法は異なっても、お茶の時間は憩いの時間であることに違いはない。日常の余白となる「お茶の時間」には、その国や地域の文化や特色が色濃く出ている。これから、様々な国の“お茶”をめぐり、それを取り巻く文化や環境、淹れた人の物語を紡いでいく。このコラムでみなさんもホッと一息ついていただけたら。(湯川)

今回は2025年11月26日開催の「食でつながる、このひと、この世界」(於：みのおキューズモール)からトルコ紅茶を紹介する。

Merhaba (こんにちは)! トルコ・チャナツカレ県出身のセバルさん。2008年に岡山大学に留学生として来日、現在大阪大学外国語学部
の教員。南米パラグアイの方と国際結婚され、娘と三人で箕面市に在住。

トルコはさかのぼって1299年頃、オスマン帝国として誕生。アラブ系、中央アジア系…顔も目の色も様々な民族多様性の国。世俗主義とイスラム社会が調和している。1923年トルコ民族の国民国家としてトルコ共和国となる。多くの遺跡があり、リゾート地でもある。ダーダネルス海峡はセバルさんにとって癒やしの場所。落ち込んだときも元気になれる。広島県の尾道、岡山県の牛窓の風景に似ている。故郷は新鮮なオリーブと野菜、果物の町。オリーブは収穫後すぐに工場で搾ってもらい(100キロ)、オリーブオイルは1キロ単位で販売している。来客のおもてなしはコロンヤ(万能香水)から。手指の消毒にもなりレモンの爽やかな香りで元気になる。この日のティータイムメニューはトルコ紅茶とクスル。トルコ紅茶は、専用の透明なグラスに濃いめのセイロンティー(トルコでは、黒茶ブラックティー)を用意してお湯を少しずつ注いでいく。琥珀色が映えて美しく、深く力強い味わい。クスルはレタスの上に熱湯で戻したブルグル(挽割り小麦)をトマトペーストやオリーブオイルで味付けしたもの。レモンを搾り、小さくカットしたピクルスと一緒に食べる。おおらかなのに繊細な味。故郷では朝食にトルコ紅茶、サラダにチーズとオリーブが定番だそうで、紅茶は軽食にもピッタリ。イベント当日の朝からセバルさんはクスルの準備、トルコの文化も聞かせてもらい、そのおもてなしに心が暖くなるひとときだった。

シリーズ世界のお茶 No.2

琥珀色の向こうにエーゲ海が見える
トルコ紅茶



このコラムは、お茶を注ぐ人を次につなげていきます。次は誰がどんなお茶を注ぐのか、乞うご期待!

唐木幸子バレエスタジオ

やさしいバレエの基本動作を正しく身につけて
美しい姿勢と健康を保ちましょう

「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法(Diploma)取得



唐木幸子バレエスタジオ 検索



TEL 072-721-2576

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅前

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

トーク&ワーク

2/7 (土)
10:00-11:30

語ることからほめていく～ある在日3世の物語から

在日コリアン3世の個人史を通して、多文化共生社会を考えるワークショップ型講座。「外国人問題」や日本社会の中における差別や分断を率直に語り、参加者がじぶんごととして考えていく場を作ります。◎ 梨花 (ストーリーテラー)

場 所: comm cafe
参加費: 無料 (別途フンドリンク代)
定 員: 20名 (申込順)
申込み: QRコードから



申込み

募集

2/10 (火)
※切

日本語教育アドバイザー

地域の日本語教室活動における日本語教育・学習のアドバイザー、グループ運営のコーディネートができる方を募集します。「せんばにほんご」「せんばこどもたぶんかクラブ (せんくら)」で活動していただきます。

活動期間: 毎週木曜
活動場所: 船場生涯学習センター
人 数: 各1名
謝 礼: 1回 4,400円
応募方法: QRコードから



せんばにほんご
応募



せんくら
応募

講座

2/13 (金)
3/7 (土)・20 (金・祝)
10:00-14:30

多言語相談員養成講座

相談員の心がまえや現状理解、支援の場を想定したロールプレイ、地域団体などについて学びます。全日程を受講したかたには、多言語相談員に応募できる修了証を発行します。

場 所: 多文化交流センター
参加費: 無料
定 員: 各10名
申込み: QRコードから



申込み

イベント

2/15 (日)
10:00-13:30

ベトナムのお正月 テトをお祝いしよう!

地域に住むベトナムの方と一緒に、ベトナムの正月・テトをお祝いしませんか。今年ももりだくさんなプログラム。もちろん、お正月料理も楽しみましょう。

10:00 ~ 第1部: ワークショップ ちまき作り
(少数民族 Thy 族のちまきを作ります)

※エプロン、三角巾、マスク、ふきんを各自で準備ください。
食品衛生上、忘れた場合は参加いただけません。

11:30 ~ 第2部: ベトナムを知るためのひととき

12:00 ~ 第3部: ベトナムの正月料理を楽しむ (定員 40名)

場 所: comm cafe
参加費: 第1部・500円
第2部・無料
第3部・2,000円 (一般)
1,500円 (アオザイ着用)
未就学児は無料です

定 員: 第1部・15名
第2部・第3部・各40名
要申込み。
第1部のみの参加はできません。

申込み: QRコードから



申込み

読書会

2/15 (日)
14:00-16:00

Sunday Book Review

1930年代の米国が舞台の E.B. ホワイト 著『Charlotte's Web』を読みます。毎月、第三日曜開催。◎ スミス マデリン (箕面市立南小学校 ALT)

場 所: 多文化交流センター
参加費: 無料 (別途、参加者・講師
ドリンク代等 600円程度)
申込み: 072-727-6912

TEL で
申込み

セミナー

2/21 (土)
13:00-16:30

多文化ボランティアセミナー&ホストファミリー説明会 「ボランティアを『社会モデル』で考える」

外国人市民を取り巻く現状やボランティア活動でのコミュニケーションについて多様な角度から学び、豊かな地域をいっしょにつくっていきましょう。講演に加えて、協会の事業紹介、協会ボランティアグループからの活動紹介もあります。

◎ 松波めぐみ (『社会モデルで考える』ためのレッスン』著者)

場 所: 多文化交流センター
参加費: 550円 (賛助会員無料)
定 員: 40名
申込み: QRコードから



申込み

賛助会員 更新手続きにつきまして

賛助会員 (都度会員) の更新手続きは、4月1日以降にお願いします。なお、クレジットカード自動引き落とし (更新手続きが不要) が可能な「継続会員」での手続きもできますので、ぜひご利用ください。
【問合せ】(公財) 箕面市国際交流協会 (MAFGA) メール: kaiin@mafga.or.jp TEL: 072-727-6912



KIMONO CHALLENGER 着物教室

初めてでも大丈夫! Let's enjoy wearing Kimono!

初心者向けの着付け教室を始めます

基本の着付けから学べます

海外の方も大歓迎! 簡単な英語対応可

講師は着付け技能士1級 (国家試験) 取得

お問い合わせ anitomo23@outlook.jp



CERES_KIMONO

インスタもあります!



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

セミナー

2/7 (土)
14:00-16:00

LGBTQ についてみんなで話そう一緒に考えよう

LGBTQ について学び、対話と共生の力を育むことで、差別解消をめざす市民企画講座。 ※一時保育 (1 歳 6 か月～就学前。定員 5 名。申込順) は 1/28 までに申込み
※手話通訳・要約筆記あり ◎ 内藤れん (NPO 法人 QWRC)

定員: 50 名 (申込順)
参加費: 無料
場 所: 市民会館
申込み: 右記 QR コードもしくは TEL
申込み・問合せ: 072-724-6720
(箕面市人権施策室)



申込み

セミナー

2/10 (火)
14:00-15:30

箕面市職員向け 人権セミナー

障害がある人もない人も、地域で自分らしく生きていけるように

1993 年に設立した箕面市障害者の生活と労働推進協議会の実践を紹介し、自分らしく生きられる社会の実現に向けて参加者の声を聞いていく。◎ 須貝 昭子 (市民活動フォーラムみのお)
◎ 上田 一裕 (箕面市障害者の生活と労働推進協議会)

参加費: 無料
場 所: 箕面市役所別館 5F 会議室 C
申込み: 右記 QR コードから
申込み・問合せ: 072-724-6707
(箕面市人事室)



申込み

セミナー

2/13 (金)
14:00-16:00

SNS 時代の情報の読み解き方

今、私たちは情報を正しく判断し、適切に活用することが求められています。デマ・偏見からの差別や人権侵害に加担しないために、メディア情報の読み解き方を学ぶ。
◎ 鶴塚 健 (毎日新聞大阪本社・社会部記者)

定員: 30 名 (申込順)
参加費: 500 円 (会員・学生無料)
場 所: みのお市民活動センター
申込み: 右記 QR コードもしくは TEL
申込み・問合せ: 072-720-3386
(市民活動センター)



申込み

セミナー

2/19 (木)
14:00-16:00

外国人市民への保健・医療サポートセミナー 2025

医療機関ではたらく外国人

～よりよい現場をつくるために、それぞれができること～

外国人医療従事者の受入の現状と取組を通して、医療現場以外で働く人にもともに働く者としての外国人市民に対する理解を深める。
◎ 北村 広美 (多文化共生センターひょうご) ほか

参加費: 無料
場 所: 箕面市立病院
申込み: 右記 QR コードもしくは TEL
申込み・問合せ: 072-724-6720
(箕面市人権施策室)



申込み

セミナー

毎月第三木曜日
2/19 (木)
19:00-20:00

マンズリー多文化サロン ハンガリー語編

「ハンガリーの絵本作家マレーク・ペロニカの世界」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。
*オンライン (Zoom) でも参加可能 (HP から要事前申込み)
◎ 江口 清子 (大阪大学 人文学研究科 准教授)

参加費: 無料
場 所: 大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室
申込み: 不要 (会場参加)
外国語学部 HP から (Zoom)
主 催: 大阪大学外国語学部
申込み・問合せ: 072-730-5013



Zoom 参加
申込み

セミナー

3/7 (土)
10:00-11:30

国際交流員による人権セミナー

他の言語を通して考えるー多文化交流と人権のつながりー

他の言語を学ぶことが国際交流や人権の尊重にどのように貢献しているのかを、プレゼンテーションや参加型アクティビティで紹介する。◎ オーランド サモラ (国際交流員)
◎ アルフィー フェローズ (国際交流員)

定員: 30 名 (申込順)
参加費: 無料
場 所: 箕面市役所
申込み: 2/2 (月) ~ 2/20 (金) に
右記 QR コードから
問合せ: 072-724-6769
(箕面市文化国際室)



申込み

イベント

3/26 (木)
10:00-12:00

図書館たほいやバトル

辞書と発想力とウソとホントを見抜く楽しいゲーム「図書館たほいや」。友達同士のペア参加も OK、もちろんソロ参加も大歓迎! みんなでワイワイ楽しみましょう!
◎ 高倉 暁大 (日本図書館協会認定司書/ゲーム司書) ほか

対 象: 中学生以上
定 員: 16 名 (ペアは 1 名カウント)
参加費: 無料
場 所: 船場生涯学習センター 510
申込み: 右記 QR コードから
問合せ: 072-730-5333



申込み

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42～45 年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得
昭和 45～47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: ☎562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

2月
February

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

こちらは、多文化交流センター(小野原)のコムカフェ1号店のメニューです

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。
また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook/Instagram をご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



AirPAYを導入しました!

クレジット決済、各種電子決済、
QRコード決済がご利用いただけます。

火・木～土

9:30-11:30

カフェタイム

11:30-14:00

日替わりランチ (1,100円)

14:00-17:00

カフェタイム

日・祝日

9:30-17:00

カフェタイム

カフェタイムはスナック・ドリンクを提供します

おしらせ

2025年4月から1号店(小野原)の営業日が変更になっています(水曜定休です)。水曜は箕面船場阪大前駅「チカノバ」にある2号店がオープン(11:00-14:00&16:00-20:30)していますので、ぜひそちらをご利用ください。(クーポン利用可!)

ス… スナックの日

I … カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
						1 ス MAFGA スナック
2 休館日	3 コスさん 《タイ》	4 店休日	5 ティさん 《ベトナム》	6 ス MAFGA スナック	7 I 語ることから ほどいていく (P.4 参照) ス MAFGA スナック (13:00～)	8 ス MAFGA スナック
9 休館日	10 ファルザナさん 《バングラデシュ》 HALAL	11 ス MAFGA スナック	12 ス MAFGA スナック	13 へバさん 《シリア》 HALAL	14 ス MAFGA スナック	15 I ベトナムのお正月 「テト」 (P.4 参照)
16 休館日	17 ファルザナさん 《バングラデシュ》 HALAL	18 店休日	19 山口さん 《中国》	20 ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	21 ティさん 《ベトナム》	22 ス MAFGA スナック
23 祝日 ス MAFGA スナック	24 ノックさん 《タイ》	25 店休日	26 ス MAFGA スナック	27 洪さん 《コリア》	28 ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、鳥羽山良平、山下三千世、湯川あさ子、鷲尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、野崎ターラー